

第1回学校評価の集計結果と報告について

本年度第1回学校評価（7月アンケート実施）の結果を集計しました。結果を分析したところ、子どもたちの学校生活・家庭生活に関することについて、下記のような成果と課題がうかがえますので、お知らせします。

記

1 結果からうかがえる成果

- ・「先生は授業内容を一生懸命教えてくれる」と感じている児童が8割以上いる。今後「学校での勉強がよく分かる」という児童の割合（6割）や「授業に、主体的に取り組んでいる」という児童の割合（5割）を、高めるための手立てを学年で具体的に進める。
- ・「学校は楽しい」と感じている児童が6割、「わが子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である」「わが子を、中藤小学校に通わせてよかった」という保護者が4割を超えている。今後も児童や保護者との信頼関係を大切にして、魅力ある学校づくりを推進する。

2 結果からうかがえる課題

- ・「自分は、将来の夢やめざす目標をもっている」と感じている児童は7割を超えている。しかし、「わが子は、つきたい職業など、将来の夢や将来の目標をもっている」と答えた保護者は2割であった。家庭の団らんの中で、もっと将来や目標について話し合えるといい。積極的に将来を考え、児童が社会に参画していくようになってほしい。
- ・「進んで読書をしている」と感じている児童は5割を超えている。一方「わが子は、積極的に読書に取り組んでいる」という保護者は2割近くである。今年度、学校では朝活動での読書タイムを増やし、より多く読書する機会を設けている。家庭でも読書の習慣が身につくように、テレビやゲームのスイッチを切って、家族で一緒に読書をする機会を設けてほしい。